



みつぎ便り

第191号 8月号 令和4年8月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

見次公園の池の生き物

今回は、見次公園の池の中にすんでいる、または、池の上に姿を表す生き物について紹介します。見次の会会員による調査開始以来、今までに確認された主な池の生き物です。大きく分けると、魚類、は虫類、両生類、甲殻類、昆虫類、池に来る野鳥の水鳥です。

この中で君はどのくらい知っているかな？

● 魚類の中には、コイ、ゲンゴロウブナ（ヘラブナ）、モツゴ、チチブの仲間、タナゴ（タイリクバラタナゴ、カネヒラ、ヤリタナゴ）、ブラックバス、ブルーギルなど

● は虫類の中にはクサガメ、ミシシippiaアカミミガメ（子どもの頃はミドリガメとも呼ぶ）など

● 両生類の中には、ヒキガエル（子どものオタマジャクシ）など

● 甲殻類の中には、アメリカザリガニ、テナガエビ、アカテガニヌマ



エビの仲間など

● 昆虫類の中には、ヤゴ（コシアキトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマの子ども）、アメンボウなど

● 池に来る野鳥の水鳥は、カルガモ、キンクロハジロ、カワウ、マガモ、オオバン、カイツブリ、オナガガモ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギなど

まだまだ、たくさん生き物がいると思います。

この中には、日本古来の在来種の生き物と本来日本にいなかった、外来種の生き物が混在しています。みなさんおなじみの、魚「鯉」も日本に持ち込まれた外来種です。かつて生息していた在来種が外来種の繁殖力に負けたり、環境の変化に対応できずに、姿を見せなくなってしまう種類もあるようです。

私たち人間も含めて、地球の生き物、見次公園の生き物も今を共存しています。これからも、この環境を大切に優しい気持ちでみんなで生きていきたいと思います。

（圭）